

13 平成19年度APEC教育協力に関する調査研究
国際研究協力研究会 代表 渡辺 良（国際研究・協力部 部長）

①研究の趣旨，ねらい

本調査研究は，APEC（アジア・太平洋経済協力）域内における教育・人材養成に関する政策上の重点課題や緊急課題等について調査研究を行い，関連政策の企画立案，評価，改善等に資することを目的とした。特に，APEC 教育ネットワーク（EDNET）のこれまでの成果の検証，わが国が有する知見・経験等を活かした新たな活動の提案，各加盟国・地域の教育関連プロジェクトへの参加による情報収集などによって，わが国が EDNET を通じていかに国際的により効果的，効率的に参加・貢献できるか，及びわが国の政策への成果の普及・還元のある方について検討した。

②研究成果の概要

- 本調査研究では，2007年4月にオーストラリア・ブリスベンで開催された第29回 APEC 人材養成ワーキンググループ会合（HRDWG）及び第23回 APEC 教育ネットワーク会合（EDNET）に本研究会のメンバーが出席し，APEC 事業等の重点目標，方向性及び各加盟国・地域における教育分野の取り組みに関する情報資料収集・分析を行った。
- また，2008年1月に中国・西安で開催された第4回 APEC 教育大臣会合準備会合に本研究会のメンバーが出席し，文部科学省の要請及び連携により，アメリカの関係者とともに「数学・理科教育」をテーマとする分科会において中心的な役割を果たすとともに，「言語学習」「キャリア教育と技術教育」「ICTとテーマ横断的な体系の改革」という各サブ・テーマの分科会において，同教育大臣会合（2008年6月ペルー・リマで開催）に向けた加盟国・地域の状況分析及び課題の解決に向けた共同の取り組みを検討した。
- 国内の大学等が実施している国際共同研究・事業の中で APEC の枠組みで進められそうなプロジェクトを発掘し，上記 HRDWG 会合及び EDNET 会合におけるプロジェクト提案のための支援を行った。
- APEC，特に文部科学省が関係する EDNET に関しては，恒久的かつ選任の担当者が APEC 事務局に存在せず，2～3年でネットワークの調整役であるコーディネータが交代するという状況の下で，活動のねらいや一貫した取り組みの枠組みがなかなか見えてこないことが，わが国が APEC に積極的に関与していく上で一つのネックとなってきた。こうした中で，上記のように，文部科学省関係者に対し研究的な示唆や国際的な動向を踏まえた情報等の提供を行うと

ともに、継続的に会議の情報・資料収集にあたり、その成果をまとめていくことができたことは、文部科学省の長期的な国際戦略を考え、国際関係施策を有効に展開していく上で意義があったと思われる。

- 上記を通じて収集した HRDWG と EDNET の平成 19 年年度の主な動向、及び加盟国・地域における EDNET 関連活動や国際教育協力の活動状況について報告書にまとめるとともに、第 4 回 APEC 教育大臣会合準備会合で収集した基礎的資料を中心に、サブ・テーマと関連のある資料を翻訳し、資料として紹介した。また、毎年 APEC の活動の締めくくりともいえる首脳会合の宣言等についても APEC 全体の動きと関係するため報告書に含めた。

③中期目標との関連性

- 本調査研究は、国際研究・協力部の活動目標 4 の「文部科学省の政策の一環として、国際教育協力活動を推進するとともに、国際会議の開催や国際会議への参加を通じて、国際的な教育ネットワークを構築する」に該当。

④今後の研究予定

- 本調査研究は 1 年間の契約による委託研究であるが、平成 20 年度においても文部科学省からの委託を受けることとなった。引き続き、第 4 回 APEC 教育大臣会合への対応をはじめ、APEC の各種教育関連プロジェクトや加盟国・地域の教育動向等の情報資料収集、分析にあたる予定である。

⑤キーワード

- (1) APEC (アジア・太平洋経済協力) (2) 国際ネットワーク
- (3) 国際教育協力 (4) Education Network (EDNET) (5) 人材養成

⑥本研究の研究報告書

- 「平成 19 年度 APEC 教育協力に関する調査研究」

⑦関連する先行研究や参考となる研究等

- 国際教育協力研究会 (代表・渡辺良), 「平成 18 年度 APEC 教育協力に関する調査研究」, 平成 18 年度文部科学省委託研究報告書, 平成 19 年 3 月
- 平成 15～17 年度科学研究費補助金特別研究促進費 (研究代表者・渡辺良) 「国際的な教育ネットワークの動向と課題—APEC を中心に—」中間資料 (1) ～ (2) 及び最終報告書, 平成 16 年 3～6 月及び平成 18 年 3 月